

市町村学校組織力向上計画(平成27年度版)

(国東市教育委員会)

①平成26年度の具体的取組
<p>ア 学校評価の状況</p> <p><目標設定等></p> <ul style="list-style-type: none"> 重点目標は、短期(1学期)・中期(1年)に分け、数値化を必ず行う。 ※内容によっては、2ヶ月ごとの短期で評価。 4点セットについては、プロジェクト会議や運営委員会を経て策定する。 保護者には年度当初のPTA総会で、地域の人にはホームページで公表する。 3学期に次年度の目標(案)を作成し、PDCAサイクルの充実を図る。 <p><学校評価></p> <ul style="list-style-type: none"> 学期毎に短期(1学期)・中期(1年)の項目について評価する。 学校評価の分析は、担当組織で行い、運営委員会を経て全教職員で共有する。 学校評価項目に国東市統一項目を位置づける。 学校評価ガイドラインを見直す。 <p><教職員評価></p> <ul style="list-style-type: none"> 自己目標を4点セット、学年目標、校務分掌と繋げる。 自己目標は、評価しやすい具体的数値やスケジュール化したものにする。 自己目標は、主任の指導を受けながら設定する。 <p><学校管理規則の改正></p> <ul style="list-style-type: none"> 改正の主旨が生きるよう、周知徹底を図るとともに、その実態把握を行う。 <p>イ 学校運営体制の状況</p> <p><教務主任の役割> (市教委)</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度当初の校長・教頭・教務主任会議等において、教務主任や各種主任の職務内容を明確に示す。 校長・教頭・教務主任で計画的に連絡会を持つ。 市教委主催の教務主任会議を学期に一度持つ。(4月・8月・12月) <p>(各学校において)</p> <ul style="list-style-type: none"> 担当一人に任せるのではなく、主任等を中心に組織で対応する。 <p>(運営委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教務主任をはじめとする関係主任からなる運営委員会のより効果的な運営を図る。(各学校において) 各学校の運営委員会の実態を校長会で報告・交流する。 組織力向上モデル校(小2・中1)を設置し、その結果を各種研修会等で普及させる。 <p>(校務分掌組織)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校運営組織図を基に、担当の職務を明確にする。 校務分掌の整理統合を行い、部門別組織の責任者(主任等)を明確に位置づける。

②成果
<p>ア 学校評価の状況</p> <p><目標設定等></p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての学校で、重点目標・取組指標等について、数値化できた。 ほとんどの学校で、校長の方針のもとに管理職や担当共同で4点セットを策定した。 全ての各校で、4点セットをホームページに掲載した。 次年度の目標(案)作成については、12月の教務主任会議と1月の校長会で提 <p><学校評価></p> <ul style="list-style-type: none"> 自己評価を踏まえての学校関係者評価は、学期毎10校、年度末等1回5校。 全ての学校で、学校評価は主任等担当が中心に行い、職員会議で結果の共有、改善の手だてについて話し合う機会を設けた。 学校評価ガイドラインは、今年度中に、見直す計画である。 <p><教職員評価></p> <ul style="list-style-type: none"> 教務主任の自己申告シートの4点セットとの連動については、連動14校、不十分1校。以前と比べて連動の意識が高まってきている。 自己目標は、多くの職員が数値目標やスケジュール化ができています。 学校管理規則は、今年度中に見直して、改正する予定である。→1月に改正済み <p>イ 学校運営体制の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標協働達成を全校指定するなど、学校・家庭・地域が協働する取組を進めている。 ほとんどの学校で、教務主任が運営委員会で提案を行っている。(毎回54%、しばしば34%)
③課題
<p>ア 学校評価の状況</p> <p><目標設定等></p> <ul style="list-style-type: none"> 重点目標達成に向けて、取組指標がスケジュール化されていない学校がある。もしくは、一学期の取組が達成指標の評価につながっていない学校がある。 <p><学校評価></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校評価に関する各主任の提案内容が、データ分析、取組の成果と課題が中心で、取組の改善を明確に示していない学校がある。PDCAサイクルの充実を図ることが必要。 <p><教職員評価></p> <ul style="list-style-type: none"> 「自己申告シート」の目標が、「重点目標」と連動していない職員がいる。 <p>イ 学校運営体制の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要主任等が、他の教職員に指導・助言を行う意識についての一層の向上が必

④平成27年度の行動計画									
<p>ア 学校評価の改善</p> <p>※全体集会・校長会・教務主任会、学校訪問等で以下の内容を徹底する。</p> <p><目標設定等></p> <p><4点セットについて></p> <ul style="list-style-type: none"> 「取組指標」は、「誰が」「何を」「どれくらいの頻度で」という検証可能なものに 達成指標が、1学期等の取組による効果を検証することはできない場合、段階的な取組指標の設定(スケジュール化)をする。または、1学期の取組の検証ができるように、達成指標に向けてスモールステップ的な取組指標を設定する。 重点的取組についても、可能な限り「学期ごとの到達目標」を設定し、学期末の検証時に「達成状況の評価」がしやすいよう工夫する。 PDCAサイクルを充実(検証と改善)させる。 <p><目標協働達成について></p> <ul style="list-style-type: none"> 4点セットに「目標協働達成」の欄を設ける(別紙参照)。 <p><コミュニティスクールについて></p> <ul style="list-style-type: none"> 安岐町3校を年度当初に指定。目標協働達成の取組を推進する。 <p><学校評価></p> <ul style="list-style-type: none"> 4点セットについては、「取組の実施状況」と「取組の効果」について、整理して評価する。 学校評価については、重点的取組の評価(4点セット)と、全方位的評価(学校経営の全方位的検項目)に分けて行う。 学校評価に関する各主任の提案内容は、データ分析、取組の成果と課題と、取組の改善点を明確にする。 <p>【4点セット検証の視点】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 取組指標の内容を実践できたか? ② できたとすれば、重点目標・達成指標の達成(成果)に結びつきつつあるか? ③ 目標に近づくためには、取組の何を改善すべきか(頻度・取組内容等)? <p><教職員評価></p> <ul style="list-style-type: none"> 「自己申告シート」の目標は、「重点目標」と連動することを徹底させる。 <p>イ 学校運営体制の充実</p> <p>※全体集会・校長会・教務主任会、学校訪問等で以下の内容を徹底する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要主任等は、他の教職員に指導・助言を積極的に行う。 主任手当の趣旨の徹底と、拠出ゼロの取組をすすめる。 									
⑤成果指標(達成指標及び取組指標)									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>達成指標</th> <th>取組指標①</th> <th>取組指標②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○主任手当拠出ゼロ</td> <td>○各種主任の承認要件の制定(市教委)</td> <td>○主任制度の趣旨の徹底・3月末の署名をさせない取組</td> </tr> <tr> <td>○校務分掌表の改善</td> <td>○4点セットと連動した分掌表作成</td> <td>○2月の校長会で提起</td> </tr> </tbody> </table>	達成指標	取組指標①	取組指標②	○主任手当拠出ゼロ	○各種主任の承認要件の制定(市教委)	○主任制度の趣旨の徹底・3月末の署名をさせない取組	○校務分掌表の改善	○4点セットと連動した分掌表作成	○2月の校長会で提起
達成指標	取組指標①	取組指標②							
○主任手当拠出ゼロ	○各種主任の承認要件の制定(市教委)	○主任制度の趣旨の徹底・3月末の署名をさせない取組							
○校務分掌表の改善	○4点セットと連動した分掌表作成	○2月の校長会で提起							